



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和6年5月14日発行

環境経営レポート

(令和5年4月 ~ 令和6年3月)



株式会社 地研

【目 次】

1. 組織の概要	P. 1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	P. 2
3. 環境経営方針	P. 4
4. 環境管理実施体制図及び役割・責任・権限	P. 5
5. 環境経営目標	P. 6
6. 環境経営計画	P. 7
7. 環境経営目標の実績	P. 9
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	P. 10
9. 次年度の環境経営計画	P. 11
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 12
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	P. 13
12. 活動状況写真など	P. 14

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 地研

代表取締役 中根 久幸

(2) 所在地

本社：〒780-0974 高知県高知市円行寺25番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 技術事業部工事課 課長補佐 杉原 弘記

E-mail: sugihara@k-chiken.com

連絡担当者 環境事務局 宮下 卓弥

E-mail: miyashita@k-chiken.com

連絡先 TEL：088-822-1535

FAX：088-822-1548

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）

建設コンサルタント業：国土交通大臣・第8753号

地質調査業：国土交通大臣・第1328号

測量業：国土交通大臣・第16041号

建設業：高知県知事許可（特-28第942号） とび・土工工事業, さく井工事業

(5) 事業の規模

設立年月日 昭和45年1月31日

資本金 25,000千円

活動規模	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
売上高	百万円	546	483	482	509	494	564	611	642	725	704	570
従業員	人	24	24	25	25	25	27	27	26	27	26	26
床面積	m ²	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0	516.0
（社屋）	m ²	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9	342.9
（倉庫）	m ²	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1	173.1

※従業員数は令和6年5月14日現在

(6) 会計年度 令和4年10月 ～ 令和5年9月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社 地研 全社（全組織・全活動）

対象事業所

本 社：780-0974

高知県高知市円行寺25番地

事業活動：建設コンサルタント業、地質調査業、住宅地盤調査業
建設業（とび・土工工事業、さく井工事業）

(2) 環境経営レポートの対象期間

令和5年4月～令和6年3月

(3) 環境経営レポートの発行日

令和6年5月14日

(4) 連絡先 TEL：088-822-1535

FAX：088-822-1548

(5) 作成責任者

環境管理責任者 杉原 弘記

(6) 次回環境経営レポート発行日

令和7年5月14日

対象となる持続可能な開発目標 (SDGs) 範囲



SDGsNo.	項目	対象有無	取り組み内容
 1 貧困をなくそう	貧困をなくそう	-	
 2 飢餓をゼロに	飢餓をゼロに	-	
 3 すべての人に健康と福祉を	すべての人に健康と福祉を	○	①時間外労働削減、有給休暇の計画的な取得の促進 ②新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の促進 ③年に一度の健康診断 ④高齢者雇用
 4 質の高い教育をみんなに	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施、研修
 5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を実現しよう	○	①高知県ワークライフバランスの推進企業認証 ②高知家の出会い・結婚・子育て応援団登録
 6 安全な水とトイレを世界中に	安全な水とトイレを世界中に	○	①水道水の節水 ②濁水防止対策
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	①電気使用量の削減 ②燃料使用量の削減 ③排ガス規制重機、ハイブリッド型重機の使用
 8 働きがいも経済成長も	働きがいも経済成長も	○	①安全・安心な労働環境を促進 ②高齢者雇用 ③ワークライフバランス推進企画
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	産業と技術革新の基盤をつくろう	○	①公共工事による国土の強靱化 ②ICT工事の効率化
 10 人や国の不平等をなくそう	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
 11 住み続けられるまちづくりを	住み続けられるまちづくりを	○	地域貢献活動（地域・周辺道路の清掃活動）
 12 つくる責任つかう責任	つくる責任つかう責任	○	①産業廃棄物排出量削減 ④環境配慮工事 ②紙資源リサイクルの促進 ③グリーン購入
 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動に具体的な対策を	○	①環境負荷の少ない工事の計画・施工 ②化石エネルギーの削減
 14 海の豊かさを守ろう	海の豊かさを守ろう	○	①濁水防止対策 ②浄化槽の整備
 15 陸の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	○	①環境配慮設計の提案、生物多様性配慮 ②間伐材の使用
 16 平和と公正をすべてのひとに	平和と公正をすべてのひとに	○	寄付、環境教育
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	パートナーシップで目標を達成しよう	○	①エコキャップ運動の実施 ②交通エコポイントの寄付活動

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

当社は、公共事業を主体とした地質コンサルタントであり、地域社会と地球環境の保全に対し、自主的で継続的な取り組みを通じて「社会の持続的発展」に向け努力し、企業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を行う。

【基本方針】

1. 当社は事業活動のあらゆる面で、環境関連の法律・規制・条例を遵守し、全社員の参加で環境保全に取り組む。
2. 環境経営方針を達成するための目的及び目標を設定し、定期的に見直しながら、継続的な改善を図る。当社の環境保全活動として、次の事項を活動項目として推進する。
 - ①事業所の事業活動における環境負荷の低減
二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量を把握し、使用量の低減や再資源化を推進する。
 - ②グリーン購入の徹底
自らが購入する製品・原材料については、グリーン購入を徹底する。
 - ③提供する製品及びサービスにおける環境への取り組み
地質コンサルタントとして、環境に配慮した調査・設計、環境負荷の少ない工法の採用を推進する。
3. 地域社会の一員として、自覚と責任を持ち、地域における環境保全に努める。
4. 全社員に環境経営方針を周知・徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、積極的に公表する。
5. SDGs（持続可能な開発目標）を推奨する。

制定日：平成21年11月10日

改定日：令和4年12月1日



株式会社 地研

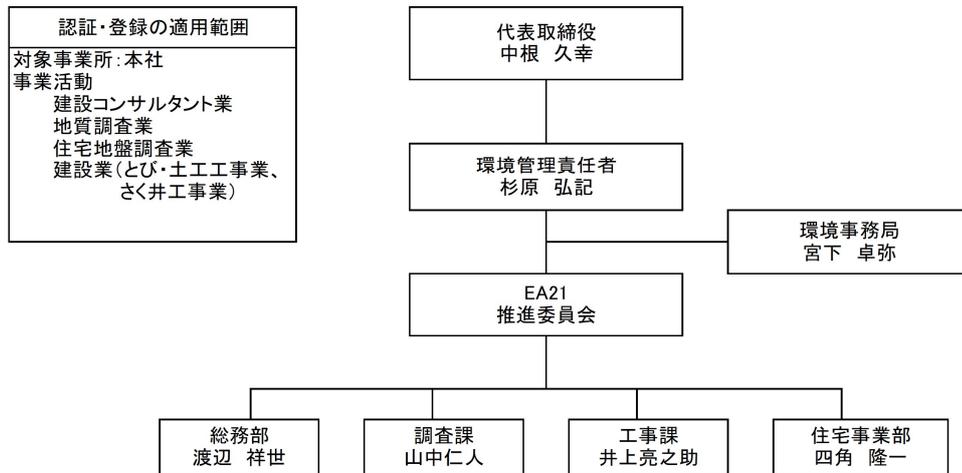


代表取締役

中根

久幸

4. 環境管理実施体制図及び役割・責任・権限



4. 環境管理実施体制図及び役割・責任・権限

環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営に関する統括責任者 ○環境管理責任者の任命 ○環境経営システムの実施に必要な資源を準備 ○経営における課題とチャンスの明確化 ○環境経営目標及び環境経営計画書を承認 ○代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ○環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営システムを構築し運用・管理を行う ○環境経営目標及び環境経営計画書の確認 ○環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ○環境経営目標及び環境経営計画の達成状況より、必要な場合は是正処置を行う ○環境関連外部コミュニケーションの窓口 ○環境経営システム組織体制の確認 ○環境経営レポートの確認
環境事務局 EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営目標、環境経営計画書の原案作成 ○環境経営目標及び環境経営活動に向けた取り組みの推進を図る ○環境管理責任者の業務を補佐する ○関連文書の記録・管理を行う ○従業員への教育訓練の実施 ○環境関連法規等取りまとめ表の作成 ○環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ○環境経営レポートの作成、発行 ○緊急事態への対応のための手順書作成 ○テスト・訓練を実施・記録の作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ○自主的・積極的に環境経営活動へ参加

5. 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	単位	令和2～4年度の 平均を基準値	令和5年度 R5.4～R6.3	基準年度比
電灯使用量	kWh	18,500	19,000	103%
低電圧	kWh	9,500	9,000	95%
ガソリン使用量	ℓ	20,000	21,500	108%
軽油使用量	ℓ	300	300	100%
灯油使用量	ℓ	200	150	75%
LPG使用量	kg	10	12	120%
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	64,463	70,300	109%
水使用量	m ³	210	200	95%
産業廃棄物排出量	k g	1,250	2,500	200%
産業廃棄物排出量再資源化率	%	60	70	100%
一般廃棄物排出量 (紙資源リサイクル量)	k g	1,100	1,500	136%
グリーン購入	%	70%	70%	100%
環境配慮設計	業務	1業務/年	1業務/年	100%
環境負荷の少ない工事 (元請1000万円以上)	件	1件/年	1件/年	100%

※電力のCO₂排出係数は、令和2年～4年の平均値（0.454kg-CO₂/kWh）で算出

(2) 中・長期目標

項目	単位	R5年度 R5.4～R6.3	R6年度 R6.4～R7.3	R7年度 R7.4～R8.3	R8年度 R8.4～R9.3
電灯使用量	kWh	19,000	18,810	18,620	18,430
低電圧使用量	kWh	9,000	8,910	8,820	8,730
ガソリン使用量	ℓ	21,500	21,285	21,070	20,855
軽油使用量	ℓ	300	297	294	291
灯油使用量	ℓ	150	149	147	146
LPG使用量	kg	12	12	12	12
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	70,300	69,598	68,894	68,193
水使用量	m ³	200	198	196	194
産業廃棄物排出量	kg	2,500	2,475	2,450	2,425
産業廃棄物排出量再資源化率	%	70	69	68	67
一般廃棄物排出量 (紙資源リサイクル量)	kg	1,500	1,485	1,470	1,455
グリーン購入	%	70%	71%	72%	73%
環境配慮設計	件	1業務/年	1業務/年	1業務/年	1業務/年
環境負荷の少ない工事 (元請1000万円以上)	件	1件/年	1件/年	1件/年	1件/年

※電力のCO₂排出係数(調整後)は、令和2年～4年の平均値（0.454kg-CO₂/kWh）で算出

※産業廃棄物排出量再資源化率の基準値は、R2～4年度の実績を考慮し決定した。

※基準値の変更

項目	単位	修正基準値	R2	R3	R4	平均
電灯使用量	kWh	18,500	18,692	19,811	17,911	18,805
低電圧使用量	kWh	9,500	8,742	9,955	10,006	9,568
ガソリン使用量	ℓ	20,000	21,196	20,563	18,553	20,104
軽油使用量	ℓ	300	319	331	286	312
灯油使用量	ℓ	200	150	182	270	201
LPG使用量	kg	10	11.4	14.0	10.2	12
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	64,463	60,220	69,505	63,663	64,463
水使用量	m ³	210	214	200	207	207
産業廃棄物排出量	kg	1,250	300	1,400	2,030	1,243
産業廃棄物排出量再資源化率	%	60	-	-	-	-
一般廃棄物排出量 (紙資源リサイクル量)	kg	1,100	929	1,364	778	1,024
グリーン購入	%	70%	70	70	70	70
環境配慮設計	件	1	1	1	1	1
環境負荷の少ない工事 (元請1000万円以上)	件	1	1	1	1	1

※修正基準値は、R2～R4の実績値の平均を加味して決定した。

※産業廃棄物排出量再資源化率の基準値は、R2年度の実績を考慮し決定した。

※電力のCO₂排出係数(調整後)は、令和2年～令和4年の平均値(0.454kg-CO₂/kWh)で算出

6. 環境経営計画

期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

項目	活動内容	担当者	期限	開発目標範囲
CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減 ・電気 ・低電圧 1. 昼食時及び不使用部屋消灯。 2. エアコン使用時の室内温度管理の徹底。(冷房28℃、暖房20℃) 3. 夏場、社屋南側のブラインドを閉める。 4. 休日前はPCのコンセントを抜く。 5. PC電源の自動消灯 6. 冷暖房機器のフィルター清掃(1回/年) 7. ウォームビズ、クールビズ対策	山中仁人	通年	  
	燃料使用量の削減 ・ガソリン ・軽油 ・灯油 ・LPG 1. ファンヒータ使用時の室内温度の徹底。 2. エコ安全ドライブの推進(ステッカー表示)。 3. 車両の買い替え時は低燃費車の導入を検討する。 4. 冷・暖房機器の交換時には、環境に配慮した機器の購入を積極的に行う。 5. 適正な運行計画 6. 忘れ物をしない 7. 燃費の把握	杉原弘記	通年	  
水使用量の削減	1. 節水コマの継続使用。 2. 洗い物のまとめ洗い。 3. 蛇口の漏水点検	四角隆一	通年	
産業廃棄物排出量削減	1. 再生可能な物のリサイクル化。 2. マニフェストによる廃棄物の適正管理。	井上亮之助	通年	
一般廃棄物排出量削減 (紙資源リサイクルの促進)	1. グループウェアの活用(サイボウズoffis)。 2. 不要原紙の再利用(適正なリユース)。 3. 両面印刷・コピーの周知。 4. FAXの電子化を周知。 5. 個人の出すゴミは持ち帰る。 6. 不要資料の不受理(営業カタログなど)	宮下卓弥	通年	
グリーン購入	1. エコ・リサイクル製品を積極的に購入。 2. 購入計画については、購入実績70%以上にできるよう積極的にエコ商品の購入を行う。	渡辺祥世	通年	
環境配慮設計	1. 調査設計業務は、環境に配慮した工法の提案。 2. 掘削量を軽減できる工法の提案。 3. 運送時のCO ₂ 削減を踏まえた軽量材料の提案。	山中仁人	適宜	  
環境負荷の少ない工事	1. 工事用看板に県産木材を活用する。 2. 低騒音・排ガス規制機械の使用。 3. 施工計画書にEA21に関する項目を明記。 4. 工事前に環境パトロールを実施し、施工計画書に反映させる。	杉原弘記	適宜	  
地域貢献活動	1. ロードボランティアによる地域の清掃。	R・B委員	適宜	
	2. 秋のおもてなし一斉清掃。	山中仁人	適宜	
	3. 現場周辺の道路等の清掃。	杉原弘記	適宜	
交通エコポイント活用 社会還元事業への寄付	交通エコポイント(10,000ポイント/1口)	宮下卓弥	適宜	
エコキャップの回収	社内・外で発生するペットボトルのキャップを積極的に収集・提供を行い、エコキャップ運動に協力する。	全社員	通年	

7. 環境経営目標の実績

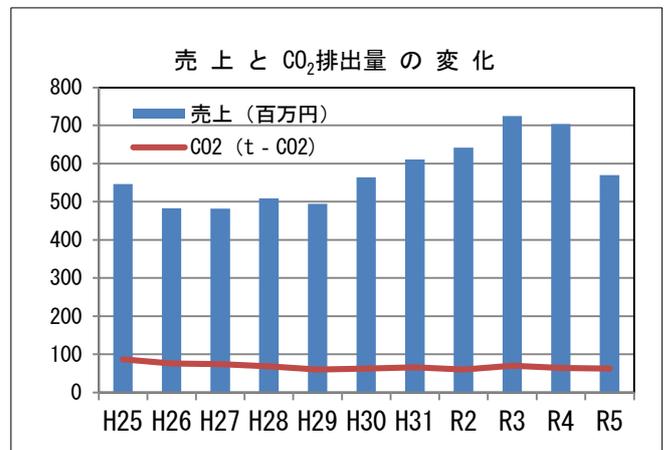
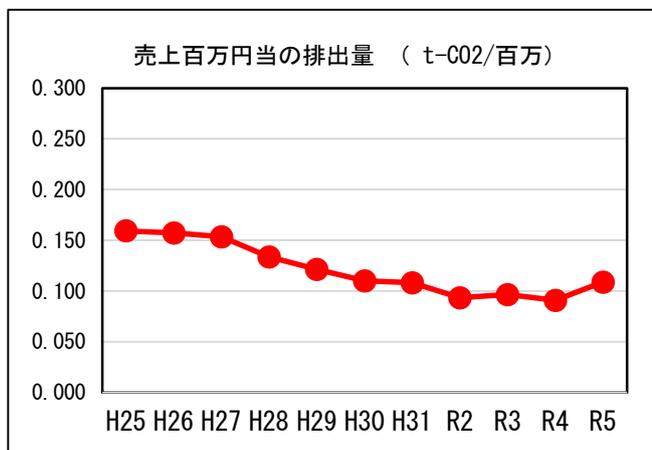
(1) 本年度実績

項目	単位	令和2～4年度の平均を基準値	令和5年度(計画) R5. 4～R6. 3	令和5年度(実施) R5. 4～R6. 3	目標比率 (%)	評価
電灯使用量	kWh	18,500	19,000	19,300	101.6%	△
低電圧使用量		9,500	9,000	9,133	101.5%	△
ガソリン使用量	ℓ	20,000	21,500	17,939	83.4%	○
軽油使用量	ℓ	300	300	316	105.3%	△
灯油使用量	ℓ	200	150	126	84.0%	○
LPG使用量	kg	10	12	20.8	173.3%	×
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	64,463	70,300	62,343	88.7%	○
水使用量	m ³	210	200	190	95.0%	○
産業廃棄物排出量	kg	1,250	2500	13990	559.6%	×
産業廃棄物排出量再資源化率	%	60	70%	33.6%	48.0%	×
一般廃棄物排出量	kg	1,100	1,500	851	56.7%	○
グリーン購入	%	70%	70%	83%	118.6%	○
環境配慮設計	業務	1業務/年	1業務/年	0業務/年	0.0%	×
環境負荷の少ない工事	件	1件/年	1件/年	0件/年	0.0%	×

※電力のCO₂排出係数は、令和2～4年の平均値、実排出0.451 (0.687kg-CO₂/kWh) で算出

(2) 基準年以降のCO₂排出量の推移

年度	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
売上高	百万円	546	483	482	509	494	564	611	642	725	704	570
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	87	76	74	68	60	62	66	60	70	64	62
CO ₂ 排出原単位	t-CO ₂ /百万円	0.159	0.157	0.154	0.134	0.121	0.110	0.108	0.093	0.097	0.091	0.109



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

(1) CO₂排出量の削減

CO₂の排出量(62,343kg)は目標値(70,300)を約11%下回った。令和4年度との比較では令和5年度は受注量はやや少なかったこともあり、CO₂排出量も約2.1%程度、下回っている。今後も社員のエコに対する意識向上に向けた活動を継続していく。

①電灯・低電圧について

電灯は1.6%、停電率は1.5%目標値を上回る結果となった。今後も引き続き、不要電灯の消灯、エアコン使用時の室内温度管理を継続していくよう努める。

②ガソリン・軽油・灯油・LPG

目標値に対し、ガソリンは16.6%程度削減、灯油は約16%の削減となり、目標を達成した。軽油5.3%程度増加、LPGは約73.3%増加となった。軽油は、コア箱納品のトラック使用により、軽油消費量も多くなったことが、要因である。LPG(湯沸かし器)については9月、12月期の使用量が多くなっている。LPGはガス漏れ等がある可能性も考えられたことから点検を行ったが、特に異常は見受けられなかったこともあるが、今後も注意するように取り組む。

(2) 水の使用量

目標値(200m³)に対し本年度は190m³の使用量で、約5%下回っている。今後も継続して節水に取り組む。

(3) 産業廃棄物排出量の削減

目標(2500kg)に対し、本年度は13990kgで、約560%の増加となった。工事物件の受注に伴い、産業廃棄物の排出量が一時的に増加した。

(4) 一般廃棄物排出量削減

目標値(1,500kg)に対し、今年度は(851kg)で約47.3%の削減となった。引き続き、実施しているペーパーレス化を社員全体で意識し継続する。

(5) グリーン購入

グリーン商品を積極的に購入しており、目標(70%)は達成できた。

(6) 環境に配慮した設計

本年度、環境に配慮する必要のある設計業務の受注は無かった。

(7) 環境負荷の少ない工事

本年度、該当する工事物件が無かった。

(8) 環境活動等

①ロードボランティアによる地域の清掃(1回/2箇月：4月、6月、8月、10月、12月、2月)

②秋のおもてなし一斉清掃(2023.10.25に1名参加)：高知駅周辺

③交通エコポイント活用社会還元事業へ交通エコポイント(10000ポイント)を寄付。

④エコキャップ回収(社内で回収したペットボトルのキャップを中間業者を通し、「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄付した。

9. 次年度の環境経営計画

期間： 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

項目	活動内容	担当者	期限	開発目標範囲
CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減 ・電気 ・低電圧 1. 昼食時及び不使用部屋消灯。 2. エアコン使用時の室内温度管理の徹底。(冷房28℃、暖房20℃) 3. 夏場、社屋南側のブラインドを閉める。 4. 休日前はPCのコンセントを抜く。 5. PC電源の自動消灯 6. 冷暖房機器のフィルター清掃(1回/年) 7. ウォームビズ、クールビズ対策	山中仁人	通年	  
	燃料使用量の削減 ・ガソリン ・軽油 ・灯油 ・LPG 1. ファンヒータ使用時の室内温度の徹底。 2. エコ安全ドライブの推進(ステッカー表示)。 3. 車両の買い替え時は低燃費車の導入を検討する。 4. 冷・暖房機器の交換時には、環境に配慮した機器の購入を積極的に行う。 5. 適正な運行計画 6. 忘れ物をしない 7. 燃費の把握	杉原弘記	通年	  
水使用量の削減	1. 節水コマの継続使用。 2. 洗い物のまとめ洗い。 3. 蛇口の漏水点検	四角隆一	通年	
産業廃棄物排出量削減	1. 再生利用可能な物のリユース化。 2. マニフェストによる廃棄物の適正管理。	井上亮之助	通年	
一般廃棄物排出量削減 (紙資源リサイクルの促進)	1. グループウェアの活用(サイボウズoffice)。 2. 不要原紙の再利用(適正なリユース)。 3. 両面印刷・コピーの周知。 4. FAXの電子化を周知。 5. 個人の出すゴミは持ち帰る。 6. 不要資料の不受理(営業カタログなど)	宮下卓弥	通年	
グリーン購入	1. エコ・リサイクル製品を積極的に購入。 2. 購入計画については、購入実績70%以上にできるような積極的にエコ商品の購入を行う。	渡辺祥世	通年	
環境配慮設計	1. 調査設計業務は、環境に配慮した工法の提案。 2. 掘削量を軽減できる工法の提案。 3. 運送時のCO ₂ 削減を踏まえた軽量材料の提案。	山中仁人	適宜	  
環境負荷の少ない工事	1. 工事用看板に間伐材を使用した県産木材を活用する。 2. 低騒音・排ガス規制機械の使用。 3. 施工計画書にEA21に関する項目を明記。 4. 工事前に環境パトロールを実施、施工計画書に反映させる。 ※5. ICTによる工事の効率化	杉原弘記	適宜	  
地域貢献活動	1. ロードボランティアによる地域の清掃。	R・B委員	適宜	
	2. 秋のおもてなし一斉清掃。	山中仁人	適宜	
	3. 現場周辺の道路等の清掃。	杉原弘記	適宜	
交通エコポイント活用 社会還元事業への寄付	交通エコポイント(10,000ポイント/1口)	宮下卓弥	適宜	
エコキャップの回収	社内・外で発生するペットボトルのキャップを積極的に収集・提供を行い、エコキャップ運動に協力する。	全社員	通年	
※SDGsの取組	・こうちSDGs推進企業登録制度の申請登録 ・SDGsの推進	全社員	通年	

※新規活動

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理。	工事施行中	井上亮之助	遵守	R6.3.31
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理。 産業廃棄物の委託契約。	工事受注時			
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付。	工事終了時			
	第13条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 高知県知事及び高知市長への提出。	6月末			R5.5.30
	省令第7条の三	見やすい場所に表示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)	-			R6.3.31
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出。 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	工事受注時	井上亮之助	該当なし	R6.3.31
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出。 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	工事受注時		該当なし	
資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、 木材等の減量化及びリサイクル。	工事終了時		遵守	
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化費用の低減努力。 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設 資材を使用する努力。	工事施行中		遵守	
水質汚濁防止法	第12条	事業所排出口における排水基準に適しない排出 水の排出制限。	8月末		該当なし	R5.8.31
	第14条	排出水の汚濁状態の測定等				
フロン排出抑制法に基づく第一種特定製品の簡易点検	義務	室外機及び室内機の異常について点検を行う 1回/3ヶ月(6月、9月、12月、3月)	6、9、12、3月		遵守	R6.3.31
浄化槽法	第8条 第9条 第10条 第11条	浄化槽の保守点検(1回/3ヶ月) 浄化槽の清掃(1回/年) 浄化槽管理者の義務 浄化槽の定期検査(1回/年)	2、5、8、11月		遵守	R6.3.31
高知市環境基本条例	第5条	事業者の責務 ○事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行うにあたっては、これに伴って生ずる公害を防止し、廃棄物を適正に処理し、及び自然環境を適正に保全するために必要な処置を講ずるとともに、環境の保全上の支障を防止するため事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。 ○前項に定めるもののほか、事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動に関し、地域社会の一員として、地域の環境の保全及び創造に自ら積極的に努めるとともに、市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。	年間	杉原弘記	遵守	R6.3.31
高知市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第4条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。			遵守	
高知県環境基本条例	第6条	事業者の責務 事業者は基本理念にのっとり、その事業活動を行うにあたっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な処置を講ずる責務を有する。			遵守	

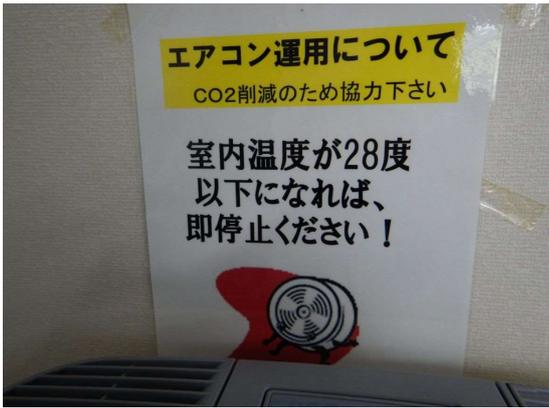
(2) 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無

令和5年4月1日～令和6年3月31日までに、環境関連法規等の違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

環境管理責任者の報告及び改善への提案		代表者による見直し																																											
報告日: 令和6年5月12日		変更の必要性の有無・指示事項																																											
<p>[取組状況の評価結果]</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況(環境関連法規等遵守記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遵守できた。 <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の環境活動期間において是正及び予防処置が必要な問題は発生していない <p>③前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、改善指示があった化石燃料のうち、低電圧(目標値に対し約1.5%程度増加)が目標値を上回る結果となった。それらの要因としては、冬場での使用期間が本年は11月～2月と長期にわたって使用したことがあげられる。 <p>④エネルギーの月間使用量が年間月平均値を3割超えた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力2 夏場や冬場のエアコンや暖房の使用により平均値を超えた。 ・LPG 9月、12月の湯沸かし器使用により平均値を超えた。 ・ガソリン 12月期の使用(事務所の社用車)により平均値を超えた。 ・灯油 冬場のファンヒーターの使用により平均値を超えた。 ・軽油 トラックの使用等により平均値を超えた。 <p><改善への提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコに対する意識向上のため会社全体で情報共有に努める。 		<p>[環境経営方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>環境経営方針は社員全体に浸透しており、環境活動によるCO₂削減量は、環境活動開始以降、減少傾向が継続している。このため、現状において、環境経営方針の変更の必要性はないものと判断する。</p>																																											
<p>[目標・環境経営活動計画の達成状況]</p> <p>(詳細は7. 環境経営目標の実績参照)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値達成状況</th> <th>活動計画に対するコメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電灯・低電圧の使用量</td> <td>△</td> <td>電灯は約1.6%、低電圧は約1.5%上回った。今後も使用管理を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>ガソリン使用量</td> <td>○</td> <td>目標は達成できた。今後も、エコドライブを意識した活動を継続するよう努力する。</td> </tr> <tr> <td>軽油使用量</td> <td>△</td> <td>目標に対し、約5%上回った。引き続き、使用管理を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>灯油使用量</td> <td>○</td> <td>目標を約16%の削減となった。今後も、冬季の気温や工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。</td> </tr> <tr> <td>LPG使用量</td> <td>×</td> <td>目標を大幅に上回った。LPGはガス漏れ等がある可能性も考えられたことから点検を行ったが、特に異常は見受けられなかったこともあるが、今後も注意するように取り組む。</td> </tr> <tr> <td>CO₂排出量</td> <td>○</td> <td>排出量は、目標値に対し約11%削減となった。昨年と比較すると受注量の減少に伴い、約2%下回った。今後も環境配慮に対する意識向上に向けた活動を継続していく。</td> </tr> <tr> <td>水使用量</td> <td>○</td> <td>目標に対し約5%の削減となった。引き続き節水に努める。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量</td> <td>×</td> <td>目標に対し約560%上回った。要因として工事の汚泥排出量が一時的に増大した。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物再資源化率</td> <td>×</td> <td>目標値70%に対し33.6%で目標を下回った。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量</td> <td>○</td> <td>目標値に対し約43%の削減となった。引き続き、ペーパーレス化の意識向上を社員全体で意識し実行する。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。</td> </tr> <tr> <td>環境配慮設計</td> <td>×</td> <td>対象とする受注は無かった。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>×</td> <td>対象とする受注は無かった。</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善への提案></p> <p>目標項目に対し、LPG、産業廃棄物排出量が目標値を大きく上回る結果となった。</p> <p>①LPGについて、夏場でも使用しているため、使用管理に注意が必要である。今後も目標値を超えないよう、継続し環境配慮活動に努める。</p> <p>②産業廃棄物排出量については、化石燃料同様に受注量に対し、変化するため、目標値の設定が難しいが、今後も目標値を超えないよう、継続し環境配慮活動に努める。</p> <p>③電灯、低電圧は、今後も使用管理継続していき、環境配慮活動に努める。</p> <p>④再資源化率は、目標値に対して上回った。要因としては工事による泥水によるものである。</p> <p>⑤その他の項目は、目標値を達成しており、今後も継続して環境配慮活動に努める。</p>		目標項目	目標値達成状況	活動計画に対するコメント	電灯・低電圧の使用量	△	電灯は約1.6%、低電圧は約1.5%上回った。今後も使用管理を徹底する。	ガソリン使用量	○	目標は達成できた。今後も、エコドライブを意識した活動を継続するよう努力する。	軽油使用量	△	目標に対し、約5%上回った。引き続き、使用管理を徹底する。	灯油使用量	○	目標を約16%の削減となった。今後も、冬季の気温や工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。	LPG使用量	×	目標を大幅に上回った。LPGはガス漏れ等がある可能性も考えられたことから点検を行ったが、特に異常は見受けられなかったこともあるが、今後も注意するように取り組む。	CO ₂ 排出量	○	排出量は、目標値に対し約11%削減となった。昨年と比較すると受注量の減少に伴い、約2%下回った。今後も環境配慮に対する意識向上に向けた活動を継続していく。	水使用量	○	目標に対し約5%の削減となった。引き続き節水に努める。	産業廃棄物排出量	×	目標に対し約560%上回った。要因として工事の汚泥排出量が一時的に増大した。	産業廃棄物再資源化率	×	目標値70%に対し33.6%で目標を下回った。	一般廃棄物排出量	○	目標値に対し約43%の削減となった。引き続き、ペーパーレス化の意識向上を社員全体で意識し実行する。	グリーン購入	○	毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。	環境配慮設計	×	対象とする受注は無かった。	環境負荷の少ない工事	×	対象とする受注は無かった。	<p>[環境経営目標・環境経営計画]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>①低電圧の使用量は目標値を1.5%程度上回る結果となった。また、LPGは目標値に対し73.3%と大きく上回った。それらの要因としては、9月・12月期の使用量の増加があげられる。また、軽油は目標値に対し、5.3%と上回った。本年度は、コア納品に伴うトラックの使用が多かったことが要因である。引き続き目標値に近づけるよう社員全体で努力する。また、再資源化可能な物については継続して積極的に取り組む。</p> <p>②次年度の目標値については、本年度の実績を加味し設定する。</p>	
目標項目	目標値達成状況	活動計画に対するコメント																																											
電灯・低電圧の使用量	△	電灯は約1.6%、低電圧は約1.5%上回った。今後も使用管理を徹底する。																																											
ガソリン使用量	○	目標は達成できた。今後も、エコドライブを意識した活動を継続するよう努力する。																																											
軽油使用量	△	目標に対し、約5%上回った。引き続き、使用管理を徹底する。																																											
灯油使用量	○	目標を約16%の削減となった。今後も、冬季の気温や工事の受注量に影響されるため、使用管理を徹底する。																																											
LPG使用量	×	目標を大幅に上回った。LPGはガス漏れ等がある可能性も考えられたことから点検を行ったが、特に異常は見受けられなかったこともあるが、今後も注意するように取り組む。																																											
CO ₂ 排出量	○	排出量は、目標値に対し約11%削減となった。昨年と比較すると受注量の減少に伴い、約2%下回った。今後も環境配慮に対する意識向上に向けた活動を継続していく。																																											
水使用量	○	目標に対し約5%の削減となった。引き続き節水に努める。																																											
産業廃棄物排出量	×	目標に対し約560%上回った。要因として工事の汚泥排出量が一時的に増大した。																																											
産業廃棄物再資源化率	×	目標値70%に対し33.6%で目標を下回った。																																											
一般廃棄物排出量	○	目標値に対し約43%の削減となった。引き続き、ペーパーレス化の意識向上を社員全体で意識し実行する。																																											
グリーン購入	○	毎年エコ商品を積極的に購入しており、特に問題なし。																																											
環境配慮設計	×	対象とする受注は無かった。																																											
環境負荷の少ない工事	×	対象とする受注は無かった。																																											
<p>実施体制</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>		<p>令和6年4月1日に総務部の渡辺祥世から市川沙也に交代した。その他は現状の実施体制は有効に機能していると思われるので、変更の必要性はないと判断される。</p>																																											
<p>総括</p> <p><改善への提案></p> <p>目標項目に対し、LPG、産業廃棄物排出量が目標値を大きく上回る結果となった。</p> <p>①LPGについて、夏場でも使用しているため、使用管理に注意が必要である。今後も目標値を超えないよう、継続し環境配慮活動に努める。</p> <p>②産業廃棄物排出量については、化石燃料同様に受注量に対し、変化するため、目標値の設定が難しいが、今後も目標値を超えないよう、継続し環境配慮活動に努める。</p> <p>③電灯、低電圧は、今後も使用管理継続していき、環境配慮活動に努める。</p> <p>④再資源化率は、目標値に対して上回った。要因としては工事による泥水によるものである。</p> <p>⑤その他の項目は、目標値を達成しており、今後も継続して環境配慮活動に努める。</p>		<p>1. 企業活動では、前年度同様に環境活動は活発であり、CO₂排出量は目標値を下回る結果となった。ただし、LPGが目標値に対し、約73%と大きく上回っているため、使用頻度を少なくするなどの徹底が必要である。</p> <p>2. 企業活動で消費するエネルギー、廃棄物の削減は、受注金額にもよるが、環境パフォーマンスは、概ね限界まで来ていると思われる。今後も、地質コンサルタント業として環境に配慮した設計、環境負荷の少ない工事への取り組みを積極的に行うことが必要である。</p> <p>3. エコアクション21活動に伴うCO₂排出量は平成28年以降、受注量に影響されず低減傾向を示している。又、売上百万円当たりのCO₂排出原単位で見てもH27年度以降、減少傾向を呈しており、エネルギーに関しては、経年的に見て、効率的・経済的な運営がなされたものと推察される。このため、環境経営システムは有効に機能していると考えられる。</p>																																											
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日～令和6年3月31日、外部からの苦情・要望等はなし。 <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月29日、令和5年8月31日、令和6年3月31日に遵守確認。 <p><改善への提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		<p>代表者が自ら得た情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 																																											

活動状況写真



エアコン運用に対する注意表記



節電表記



エコキャップ回収箱の設置



節電表記



ごみの分別表を社内に表示



産廃保管施設の設置状況



ロードボランティア活動状況



室内の温度管理状況（デジタル温湿度計による見える化）
 ※デジタル温湿度計は、1Fに1箇所、2Fに2箇所設置



車両の使用状況
 積極的なハイブリッド車の導入状況



AEDの設置状況



消火器の設置状況



低騒音機械の使用状況（発電機）



低騒音機械の使用状況（コンプレッサー）

こうちSDGs推進企業 登録証



こうちSDGs推進企業として登録し、ここに証します。

登録事業者: 株式会社地研

登録番号: 410

登録期間: 令和5年7月7日 から 令和8年7月6日 まで
(2023) (2026)

令和5(2023)年7月7日

高知県知事 濱田 省司



SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社は、公共事業を主体とした地質コンサルタントであり、地域社会と地球環境の保全に対し、自主的で継続的な取り組みを通じて「社会の持続的発展」に向け努力し、企業活動のあらゆる面において、環境に配慮した行動を行い、SDGsの達成に貢献していきます。

3側面 主な分野に○	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <登録年月日> ○年○月○日	チェック リストの 関連する 番号
環境 社会 経済	エコアクション 21 での取り組みをもとに電力使用量削減(2023)	LED 化導入率を 30%増 (2022:70% →2030:100%)		14
環境 社会 経済	エコアクション 21 での取り組みをもとにグリーン商品の購入促進(2023)	グリーン商品購入の 25%増加 (2022:70% →2030:95%)		18 34
環境 社会 経済	感染症対策も含めたBCP作成と共有(2023)	弊社事業継続計画の策定と社員共有率 100%(2022:85% →2030:100%)		47、49、 50

認定NPO法人 世界の子どもに ワクチンを日本 委員会	ペットボトルキャップ回収	累積重量 (kg)	累積 ポリオワクチン (人)	支援年
		18.4	9.2	H28～R5

JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2024年 6月 19日 ID 6009955

株式会社地研 さま

高知県高知市円行寺25番地

受領日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2024/04/22	5.2Kg	52円	2.6人分
累 計	18.4Kg	184円	9.2人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。
ご支援に心より感謝申し上げます。

お知らせ

書き損じはがきの回収にご協力ください

たった1枚のはがきでBCGワクチン2人分とポリオワクチン1人分を届けられます

集めているもの

書き損じはがき
未使用はがき
郵便はがきや年賀はがき
額面の古い50円などもOK



未使用切手
使用済み切手
使用済み切手は消印を含
むように周りをざつと
りと切ってください



全国共通ギフト券
旅行券、ビール券
図書券、株主優待券
収入印紙、新幹線、回数乗車券



外国紙幣
※外国コインは
集めていません



未使用・使用済みの
テレホンカード
未使用プリペイドカード



ダイヤ、宝石、真珠、金、銀
プラチナ製の貴金属、腕時計
真珠のネックレス



封筒などに入れて、弊団体までお送りください



認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

www.jcv-jp.org

JCVペットボトルキャップ寄付証明書